

津軽の"うまい"がここにある

会社案内

弘果

弘前総合地方卸売市場
弘果 弘前中央青果株式会社

弘前総合地方卸売市場
弘果 弘前中央青果株式会社
会社案内

弘果の歌

横山武夫作詞

一、父なるふじの岩木峰まもる
涯なく広い津軽の国原
母なる川の岩木川の水は
ゆたかに流れて地を潤す
農の業は古くさかえて
見よ見よ妙なるりんごの結実
青鮮らしい蔬菜のしげり
あゝ我等ここに拠る
心ひとつの弘果 弘果
弘前中央青果

二、天地の恵みを人にわかって
幸福きずく使命は重い
単独の商の日は遠く過ぎ
広域と組織の力に
繁栄の時代は進む
見よ見よ妙なる大和の精神
つらぬく一つよ昔も今も
あゝ我等ここに拠る
心ひとつの弘果 弘果
弘前中央青果







代表取締役社長
大中　徹

指針

一、誠実奉仕
一、創意工夫
一、改革挑戦



創立者 大中正元　銅像



津軽の〝うまい〟がここにある












中山青果株式会社
















ITAGAKI
生産連絡協





❶第一卸売場（果実売場）

あらゆる種類の野菜や果実がところ狭しと並び、早朝から活発にセリが行われています。



❷第一卸売場（野菜売場）

入荷品の品質保持の為に、売場が一定の温度で保たれています。



❸第二卸売場（りんご売場）

津軽一円から持ち込まれたりんごが、売場いっぱい並べられます。



❻りんご冷蔵庫

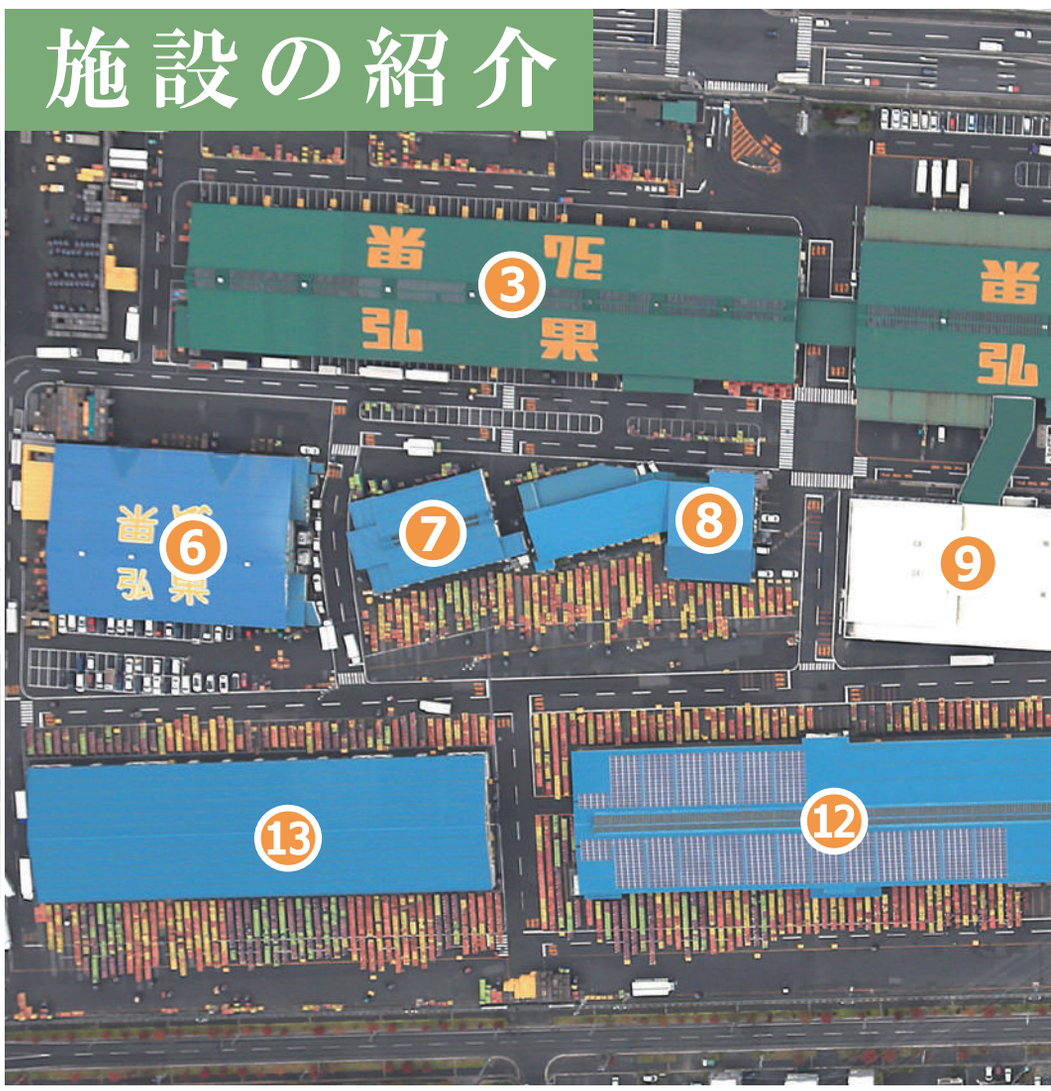
りんごの鮮度保持と安定供給のために一時保管しています。約 14 万箱収容できます。



❼低温倉庫

グレープフルーツやオレンジなどの輸入果実や野菜専用の低温倉庫です。

施設の紹介





❽資材センター（弘果物流）

りんご木箱をはじめ、青果物の生産や流通に必要な資材が販売されています。



❾パッケージセンター

いろいろな野菜や果物が、お客様の要望にあわせパッケージされています。



❿バナナセンター

フィリピンや南米から届いたバナナを、おいしく食べられるように追熟加工しています。



④ 総合食品センター

青果物はもちろん、海産物、加工食品、お菓子、包装資材、日用品などなんでも揃っています。



⑤ 花き市場（花き売場）

国内外からあらゆる種類の花々が集められ、セリにかけられています。



⑯ コンテナ交換所

野菜、メロンなど各種コンテナの貸出業務と洗浄を行っています。





⑮ 水産冷蔵庫

-50℃の超冷凍室から -25℃の冷凍室で商品が大事に保管されています。



⑭ 水産市場（水産売場）

全国の港や市場を経由してきた、新鮮なあらゆる水産物が活発に取引されています。



⑪ 食堂棟

市場ならではの新鮮な素材を使い、早朝から営業しています。



⑫ 第三卸市場（りんご売場）

りんごの最盛期はりんごの売場として使用し、その他はイベント会場などとして使用されています。

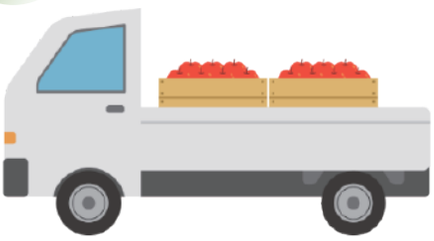


⑬ 第四卸売場（りんご売場）

第二、第三卸売場同様、りんごがたくさん並べられています。

卸売市場の機能

1. 集荷・分荷



出荷者（生産者等）から多種多様な農作物を集めることが集荷です。出荷品を購入した (※) 買参人によって、需要者のニーズに応じ、それぞれの売り場や自社工場、取引先ほか、全国に届けられていくことが分荷です。

(※) 買参人とは、買参権（卸売市場で購入する権利）をもつ仲卸業者や小売事業者のことです。

2. 価格形成

競りにかけられた出荷品は、例えば同じ「りんご」でも需要と供給のバランスによって、毎日価格は変動します。需要が多く供給が少なければ価格は上がり、その逆であれば下がります。適正価格となるよう、需要と供給のバランスを保ちながら価格を形成することが、大事な機能の一つです。



3. 代金決済



販売代金を迅速かつ確実にお支払いすることです。弘果では、取引の 2 営業日後には出荷者に現金をお支払いするルールです。一般企業の商慣行だと翌月払いや翌々月払いが多いことから、そのスピード感がお分かりいただけるかと思います。

4. 情報受発信

日々の取引結果はもちろん、出荷者や買参人とさまざまな情報を交換することで生産と消費の距離を縮め、より魅力的な農作物の生産や販売に貢献するという役割があります。



弘果の特徴

「民設民営」の卸売市場



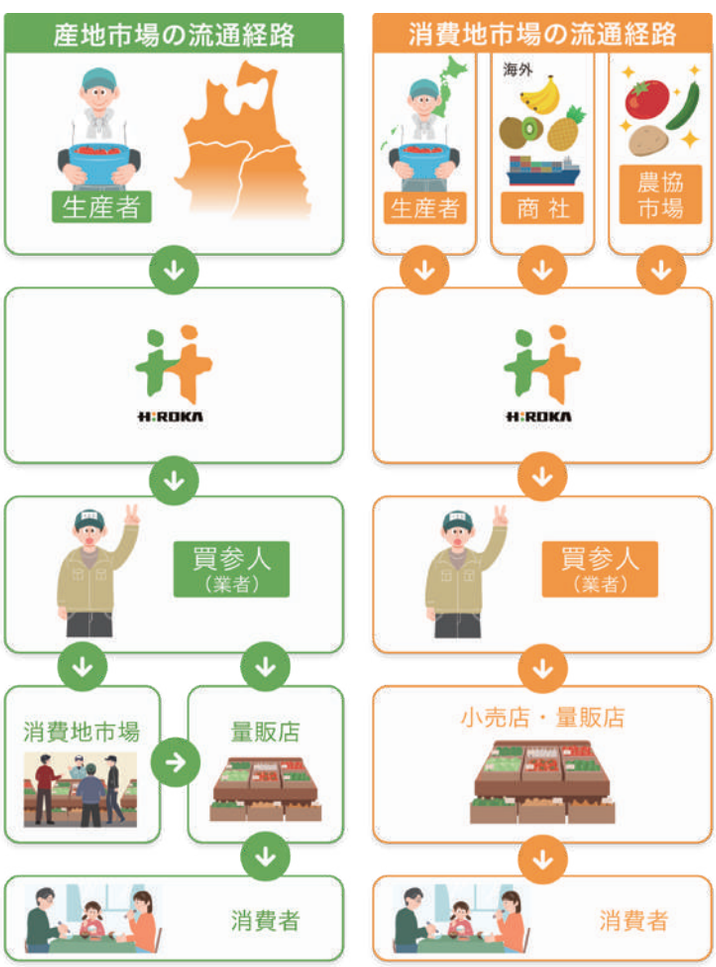
市場は、地方公共団体が開設する中央卸売市場と公設地方卸売市場、及び卸売業者などの民間企業が開設する民設地方卸売市場とに卸売市場法上分けられます。
弘果が運営する「弘前総合地方卸売市場」は、民設民営市場となります。「民設民営」の柔軟性という強みを生かした運営で、一部でなく全体の変化を、自社だけでなくステークホルダー（利害関係者）や地域全体の成長を考え、津軽の農産業のアップデートを支えています。

日本一の「りんご」取扱数量を誇る市場



弘果の「りんご」取扱数量は、全国の流通量の約 20%を占めています。日本一のりんご産地にある卸売市場だからこその取扱数量ですが、大消費地である首都圏や関西圏の青果市場を大きく超える取扱数量であることは、長年の営業努力や、培ってきた多くの取引先との信頼関係のたまものでもあります。全国の卸売市場関係者や国内外のバイヤーから、「りんご」の入荷動向や相場動向を日々注目されています。

「産地市場」と「消費地市場」



「産地市場」とは、主に生産者から出荷される農産物の卸売のため、産地において開設される市場です。「消費地市場」とは、農産物の卸売を行うため、消費地において開設される市場です。弘果はこの２つの役割を担っています。特に「産地市場」は全国でも数少なく、そのために出荷者（生産者等）との深いコミュニケーションや情報提供が欠かせません。弘果は地域（津軽）に根差し、そこで育まれたりんごをはじめとする津軽の農作物を「作る」「売る」「食べる」全ての方々に感謝し、津軽⇆青森⇆日本⇆世界の「食」をつなぎます。

会社概要

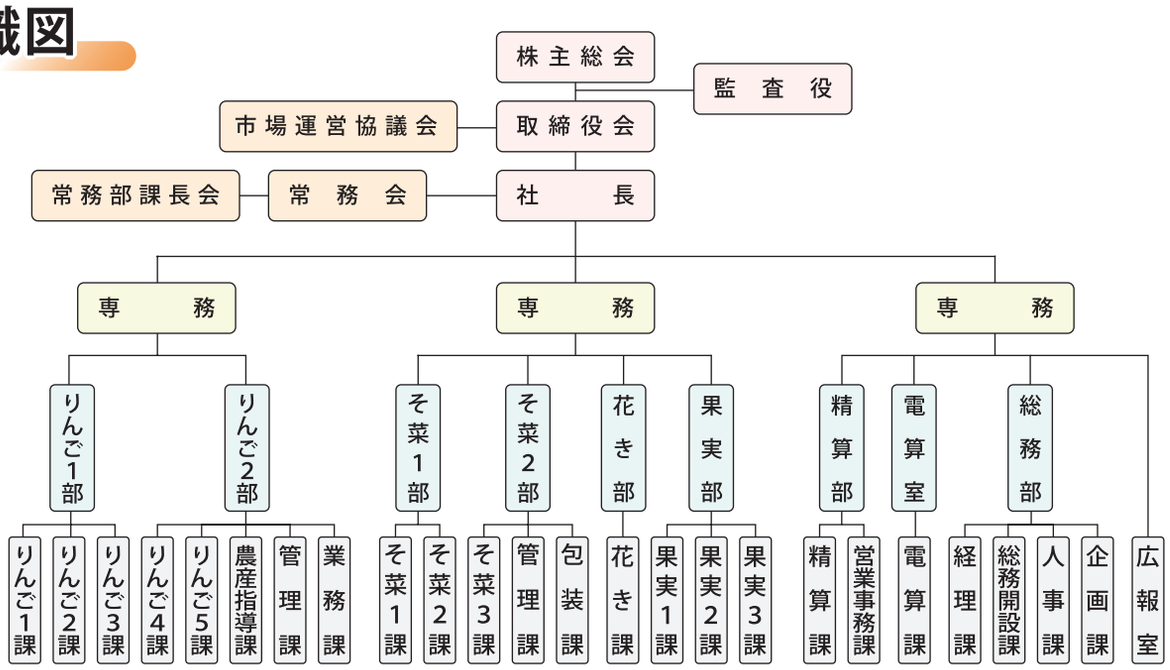
会 社 名	弘果 弘前中央青果株式会社
代表者名	代表取締役社長　大中 徹
所 在 地	〒036-8601 青森県弘前市末広一丁目 2 番地 1
T　E　L	0172-27-5511（代表）
事業内容	1. 青果物・花き・生鮮食料品及びその加工品売買並びに受託卸売販売 2. 倉庫業 3. 地方卸売市場の経営 4. 経営上必要と認められる事業に対する投資 5. 不動産の賃貸業 6. 前各号に附帯する一切の業務
設　　立	昭和 46 年 12 月 20 日
資 本 金	9,950 万円
売 上 高	令和 6 年度　400 億円
正社員数	男子 142 名 / 女子 86 名　　計 228 名

取引金融機関	(株) 日本政策金融公庫 青森支店
	(株) 青森みちのく銀行 弘前東支店
	(株) 青森みちのく銀行 城東支店
	(株) 商工組合中央金庫 青森支店
	農林中央金庫 仙台支店
	(株) 秋田銀行 弘前支店
	東奥信用金庫 城東支店
	青い森信用金庫 城東支店
	(株) みずほ銀行 青森支店
	(株) 三井住友銀行 仙台支店
	(株) 七十七銀行 青森支店
	(株) 三菱 UFJ 銀行 仙台支店
	(株) 岩手銀行青森支店
	青森県信用組合 弘前店
	つがる弘前農業協同組合 弘前中央支店
	津軽みらい農業協同組合 平賀支店

会社沿革

昭和35年 6月 （株）丸吉大中商店が弘前市代官町にて青果市場を開業。
昭和39年 5月 弘前市和徳松ヶ枝に青果市場を新築移転。
昭和42年 6月 丸吉大中青果（株）と名称変更。
昭和43年 2月 りんご市場を併設、 営業開始。
昭和44年 1月 弘前市和徳俵元にりんご市場を新築移転。
昭和46年 12月 大中青果（株）、 農協、 買参人、 従業員の四者協定により資本金 9,950 万円で設立。 旧大中青果（株）の営業の譲渡を受け公共的市場として発足。
昭和47年 1月 旧大中青果市場の施設にて営業を開始。
昭和48年 6月 卸売市場法に基づく地方卸売市場開設許可及び卸売業務許可を受ける。
昭和49年 7月 第1卸売場及びバナナセンター（成熟施設）完成。
昭和49年 8月 花き卸売市場開設許可。（弘果花キ部）
昭和50年 3月 売上高 50 億円達成。
昭和50年 10月 りんご冷蔵庫完成。
昭和52年 9月 第 2 卸売場完成。
昭和54年 3月 売上高 100 億円達成。
昭和59年 3月 売上高 200 億円達成。
昭和62年 3月 創立者大中正元氏死去に伴い、大中武代表取締役社長就任。
平成元年 10月 （株）弘前水産地方卸売市場設立。
平成 2年 3月 売上高 300 億円達成。
平成 2年 6月 （株）弘果物流設立。
平成 2年 10月 第 2 卸売場完成。（多目的施設）
平成 2年 11月 弘前水産地方卸売市場完成開場。
平成 4年 3月 売上高 400 億円達成。
平成 5年 11月 （株）津軽りんご市場設立。
平成 6年 8月 津軽りんご市場完成開場。
平成11年 3月 大中武社長死去に伴い、 山本忠道代表取締役社長就任。
平成12年 10月 （株）弘前花き設立。（本社から独立）
平成16年 5月 弘果総合研究開発（株）設立。
平成16年 5月 大中忠代表取締役社長就任。 山本忠道取締役会長に就任。
平成16年 12月 新バナナセンター・パッケージセンター完成。
平成18年 9月 山本忠道取締役会長死去。
平成20年 12月 （株）スコーレの株式を取得し、 グループ化。
平成21年 2月 弘果保険サービス（株）設立。
（弘果物流とスコーレの各保険部門を統合）
平成22年 9月 弘前りんご（株）の株式を取得し、 グループ化。
平成23年 11月 （株）弘果物流 東京営業所開設。
平成23年 12月 弘果保険サービス（株）が、（株）コスモロードと統合して弘果コスモ保険サービス（株）となる。
平成26年 9月 第4卸売場完成。
令和 2年 5月 葛西静男代表取締役社長就任。 大中忠取締役会長に就任。
令和 2年 6月 市場法改正に伴い、 認定市場名を弘前総合地方卸売市場に変更。
令和 6年 4月 （株）弘前花きを合併し、 弘果花き部を設立。
令和 7年 9月 弘果コスモ保険サービス（株）が解散し、（株）弘果物流の一部門となる。
令和 8年 5月 大中徹代表取締役社長就任。

組織図



弘果の仕事

りんご取扱量日本一を誇る「弘果」は、社歌の一節の「心ひとつの弘果」に象徴されるような、会社、社員、お客様、地域社会を信用と信頼でつなぎ、「弘果」と聞いてイメージされる「市場」「りんご」の枠に収まり切れない多様性あふれる企業です。

りんご部

りんご 1 部 1 課・2 課・3 課

りんご 2 部 4 課・5 課・農産指導課・管理課・業務課

市場に持ち込まれたりんごは競売（セリ）を行い販売しています。生産者や買参人と情報交換を行い、入荷や販売動向を踏まえ、安定した取引に努めています。
また農産指導課では、メロンをはじめとする弘果オリジナルブランド「つがりあん」や、様々な農作物の栽培指導や提案を行っております。

花き部

花き課

青森県産および海外・全国の花きを消費者へ安定した供給をしております。
また、花育活動を展開して消費喚起に繋げております。

総務部

総務開設課　人事課　経理課　企画課

会社全体の経営や各部門がスムーズに働けるよう総務部で管理し、経営を支える役割です。ガバナンスやコンプライアンス、働きやすい環境を通じて企業価値向上に貢献します。

広報室

「弘果」の理念や魅力を社内外へ発信し、企業活動への理解と信頼を深める役割を担っています。時代に即した効果的な情報発信を企画・実行し、「弘果」の魅力や価値を広く伝えることで、企業価値の向上に努めています。

青果部
そ菜部・果実部

そ菜 1 部 1 課・2 課

そ菜 2 部 3 課・管理課・包装課

果実 1 課・2 課・3 課

「生産地」と「消費地」の双方の面を持ち、需要と供給のバランスを見極め、ビジネスを展開しています。農産物の生産地が移り変わっていく「産地リレー」をし、１年を通して安定した供給、販売を心掛けています。
また、輸入果実は海外からの果実を世界各地より取り寄せています。

電算室

電算課

コンピューターや関連機器およびソフトウェアの管理や操作サポート等の業務、データの作成や処理、蓄積、分析等をしています。
また、営業部からのデザインサポート業務を行っています。

精算部

精算課　営業事務課

精算課は支払い、入金業務を行っています。営業事務課は、様々なデータの入出力業務を担当しており、営業職員が仕入・販売をスムーズに行えるようにサポートしております。

弘果グループ

(株)津軽りんご市場

津軽地域を代表する全国初のりんご専門市場として、地方卸売市場の開設及びりんご卸売、農業資材の販売を行っています。

〒038-3684
青森県北津軽郡板柳町
三千石二潟 21 番地 3

株式会社 弘果物流

肥料・農薬・農産資材の販売や、運送斡旋業、ジュース・シャーベットの販売、ドトールコーヒーショップの運営、保険代理店業務などを行っています。

〒036-8085
青森県弘前市大字末広一
丁目 2 番地 1（弘果市場内）

弘果総合研究開発(株)

りんご・野菜・果実のトレーサビリティの運営や農産物の調査研究、新商品の開発などを行い、弘果グループのシンクタンクとして機能しています。

〒036-8085
青森県弘前市大字末広一
丁目 2 番地 1（弘果市場内）

株式会社スコーレ

不動産賃貸事業、アミューズメント事業、リテール・サービス事業、飲食事業、アパレル事業を展開し、住みよい街づくりに取り組んでいます。

〒036-8002
青森県弘前市駅前三丁目
15 番地 5 大中駅前ビル

(株)弘前水産地方卸売市場

水産物の卸売市場の開設・運営を行い、弘前市ならびに津軽地域の中核的な水産物流通拠点として、新鮮かつ安全な生鮮水産物を安定供給しています。

〒036-8085
青森県弘前市大字末広一丁目 2 番地 1
（弘果市場内）

弘果りんご園(株)

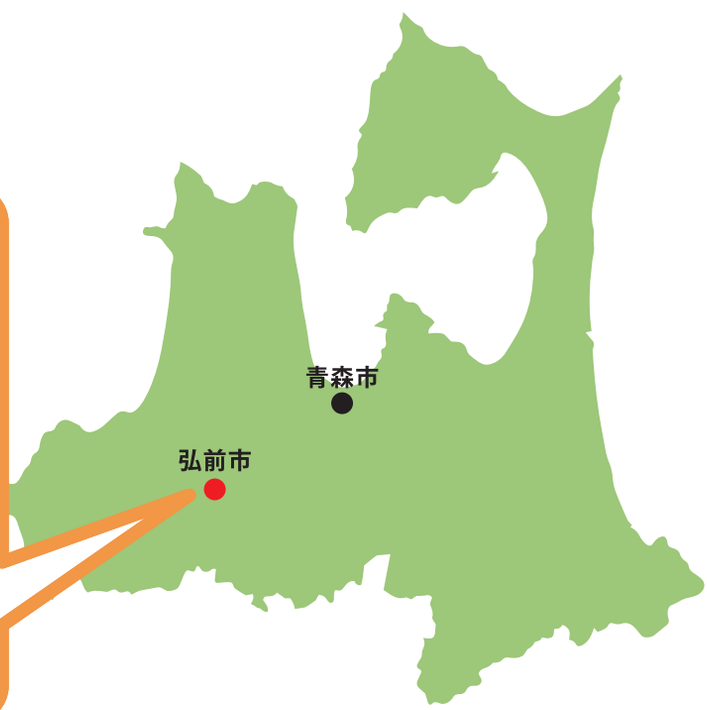
りんご農家の減少と生産量減少を防ぐべく離農した農園の受け皿となるため設立され、主にりんごの生産及び販売に関する事業を行っています。

〒036-8085
青森県弘前市大字末広一丁目 2 番地 1
（弘果市場内）

アクセス

〒036-8601
青森県弘前市大字末広一丁目 2 番地 1
TEL：0172-27-5511（代表）





令和 8 年 6 月現在